

午前 11 時 58 分開会

○秋谷議長 皆様こんにちは。ただいまから、令和 7 年度第 1 回区民集会運営協議会を開催いたします。

千代田区議会議長を務めております秋谷こうきでございます。よろしくお願いいたします。

連合町会長の皆様におかれましては、お忙しい中、お時間を頂き、ありがとうございます。

初めに、本会議は公開とし、傍聴を認める形としたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○秋谷議長 ありがとうございます。それでは、以後着座にて進めさせていただきます。

本日は、今年度初めての開催となります。名簿と座席表を、資料 1、資料 2 としており、お手元にお配りしております。ありますか。新たに連合町会長にご就任された町会長様もいらっしゃいますので、皆様、お座りの順で、お一言ずつ自己紹介をお願いできればと存じます。

早速で恐れ入りますが、横山会長からお願いいたします。

○横山委員 麹町出張所地区連合町会の、今、会長をしています五番町町会の横山でございます。初めてというか、今年度最初の区民集会の運営協議会なので、忌憚のないお話を頂ければと思います。よろしくお願いいたします。

以上です。

○秋谷議長 小林会長、お願いします。

○小林（一）委員 秋葉原東部連合の神田佐久間町三丁目町会の小林です。よろしくお願いいたします。

○小澤委員 岩本町東神田連合の岩本町三丁目町会長、小澤でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○篠田委員 神田駅東連合町会の篠田です。一応神田須田町二丁目町会長をやっております。よろしくどうぞ。

○秋谷議長 堀井委員、お願いします。

○堀井委員 神田公園地区連合町会長、錦町三丁目第一町会の、神田のトム・クルーズこと堀井市朗です。（発言する者あり）よろしくお願いいたします——トム・クルーズと、年は一緒です。よろしくお願いいたします。（「そうか」と呼ぶ者あり）

○望月委員 神保町地区町会連合会の望月と申します。神保町三丁目町会で町会長をしております。どうぞよろしくお願いいたします。

○久保寺委員 富士見地区町会連合会の久保寺でございます。町会は九段四丁目でございます。よろしくお願いいたします。

○秋谷議長 お願いいたします。

それでは、議員の皆様。大坂議員から、よろしくお願いいたします。

○大坂委員 はい。副議長をしております大坂隆洋です。よろしくお願いいたします。

○小野委員 議会運営委員長を務めております小野と申します。よろしくお願いいたします。

- 小林（た）委員 議会運営委員会副委員長の小林です。よろしくお願いします。
- 小枝委員 委員の小枝と申します。一人会派でございます。よろしくお願いいたします。
- 米田委員 区議会議員の米田です。よろしくお願いします。
- 牛尾委員 委員の牛尾です。お願いします。
- 岩佐委員 委員の岩佐です。よろしくお願いいたします。
- はやお委員 委員のはやおです。よろしくお願いいたします。
- 春山委員 委員の春山です。よろしくお願いいたします。
- 田中委員 委員の田中です。よろしくお願いいたします。
- 桜井委員 委員の桜井でございます。よろしくお願いいたします。
- おのでら委員 委員のおのでらでございます。よろしくお願いいたします。
- 秋谷議長 ありがとうございます。よろしくお願いいたします。

連合町会長の皆様には、本協議会の委員としてご協力をお願いすべく委嘱状をお配りしております。どうぞお力添えのほど、よろしくお願いいたします。

次に、皆様のお手元にお配りしました資料の確認を事務局からお願いいたします。

- 石綿区議会事務局長 それでは、改めまして、区議会事務局長、次長事務取扱の石綿と申します。どうぞよろしくお願いします。

それでは、お手元にお配りをいたしました資料の確認をさせていただきます。1枚目の次第を除きまして、各資料には右上に資料番号を記してございますので、この番号順にご案内をさせていただきます。

まず、資料1でございます。令和7年度区民集会運営協議会名簿でございます。次に、資料2、令和7年度区民集会運営協議会座席表でございます。次に、資料3、区民集会活動概要でございます。次に、資料4、区民集会運営協議会 現テーマに関するこれまでの経過でございます。次に、この資料4に関連する資料といたしまして、資料5-1、要望書（R5区民集会テーマ選定 要望事項）でございます。それから、資料5-2、要望書（R6区民集会運営協議会としてアンケート実施の要望）。続いて、資料5-3、区内地域格差・各町会の特性を思索した「地域コミュニティの形成と継承」を思考する特別委員会の設置を求める陳情。次に、資料5-4、令和7年1月23日企画総務委員会議事録（陳情審査部分抜粋）でございます。次に、資料6、地域振興部コミュニティ総務課の資料でございます。最後に、参考資料といたしまして、区民集会運営協議会設置要綱をおつけしてございます。過不足等ございましたら、私ども事務局までお申し出を頂ければと思います。

ご説明は以上でございます。

- 秋谷議長 ありがとうございます。よろしいでしょうか、お手元の資料。

それでは、本日の議題に入らせていただきます。

初めに、日程1、正副座長についてです。当運営協議会は、区議会議長が座長を、連合町会長協議会の会長が副座長を務めることとなっております。僭越ながら、私、議長の秋谷が座長を務めさせていただき、副座長には連合町会長協議会会長である横山会長にお願いしたいと存じます。よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

- 秋谷座長 ありがとうございます。横山会長、どうぞよろしくお願いいたします。

○横山副座長 はい。ありがとうございます。よろしくお願いします。

○秋谷座長 次に、日程2、区民集会活動概要についてです。

事務局から説明をお願いいたします。

○石綿区議会事務局長 はい。それでは、区民集会活動概要につきましてご説明をさせていただきます。昨年度もご説明をさせていただきました内容と大きな変更はございませんけれども、今年度より新たに委員に就任いただいた方もいらっしゃいますので、端的にご説明をさせていただければと思います。

それでは、お手元の資料3、区民集会活動概要をご覧くださいながらご確認を頂きたいと思えます。こちらの資料は、当運営協議会の活動を含めまして、区民集会についてこれまでの取組内容をおまとめした資料でございます。

初めに、(1) 区民集会の目的でございます。資料に記載のとおり、区民集会は千代田区を守り発展させていくため、区民の皆様と区議会が一体となって地域の抱える諸課題に対して主体的に取り組み議論をする場として、昭和58年度から40年以上にわたり活動を継続しているものでございます。また、この区民集会の開催に当たりまして、企画や運営などに関する協議の場として、連合町会長8名の皆様と委員に選任された区議会議員で構成をいたします「区民集会運営協議会」を設置しているもので、本日は今年度の第1回目当たるものでございます。

次に、(2) 近年の開催状況でございます。説明文には令和3年度からの記載となっておりますが、(3) 区民集会実施状況といたしまして、次ページ以降にわたりまして取組を一覧にしております。本日はお時間も限りがございますので、詳細のご説明に関しては割愛をさせていただきますが、(2) 近年の開催状況の後段に記載のございますとおり、現テーマである「これからの地域コミュニティの形成と継承」につきましては、令和5年度に設定をいたしまして現在まで取り組んでいるテーマでございます。詳細につきましては、こちらは後ほどまたご説明をさせていただきます。

その他の資料につきましては、後ほどお目通しを頂ければと存じます。

ご説明は以上でございます。

○秋谷座長 ありがとうございます。

続いて、今期の実施テーマについて、初めに、テーマに関する経過説明を事務局からお願いいたします。

○石綿区議会事務局長 はい。それでは、続きまして、現テーマに関するこれまでの経過につきましてご説明をさせていただきます。少々お時間を頂戴いたしまして、お手元の資料4、区民集会運営協議会 現テーマに関する経緯をご覧くださいながらご確認を頂けますでしょうか。先ほどの活動概要のご説明の際にも触れさせていただきました現テーマであります「これからの地域コミュニティの形成と継承」につきましては、令和5年度から現在まで設定されてございまして、皆様にご協議を頂いているところでございます。

資料に記載のとおり、現テーマは、遡ること令和5年7月の本日この場と同様の運営協議会におきまして、当時の連合町会長から喫緊の課題といたしまして地域コミュニティに関することについて設定をされたい旨のご希望を頂きまして、このたび検討することになったということでございます。その後、同年の9月、当運営協議会の座長でございます議長に対しまして、連合町会長協議会会長と全ての連合町会長の連名によります資料の5一

1で配付をいたしました区民集会テーマ選定要望事項の要望書が提出されたものでございます。こうしたご要望を受ける形で、同年10月に開催をいたしました当運営協議会において、現テーマを区民集会のテーマにすることが決定されたものでございます。

この年も明け、令和6年1月になりまして再度当運営協議会を開催いたしまして、地域コミュニティに関する区の取組や、これからの地域コミュニティの形成と継承に必要なことについて、区職員や有識者の方を講師にお招きをして勉強会というものを開催してございます。

その後、年度替わりまして令和6年の7月でございますが、ちょうど1年前でございます。7月の末になりますが、本日と同様にこの運営協議会というのを開催したものでございます。

1年前のこの会では、これまでの協議を踏まえ、座長からご提示をした今後の計画のご確認、ご承認を頂く予定でございましたが、委員の皆様から様々なご意見を頂戴し、再度正副座長で検討していくということで確認がされたものでございます。一方で、その後は現テーマに関連して、当運営協議会以外の動きというものがございまして、同年8月には、議長に対しまして、区民集会運営協議会として町会の実態を把握するためのアンケートを実施してほしい旨の要望書が、お配りしております資料5-2のとおり提出されたものでございます。さらに、同年11月には、議長に対しまして、「区内地域格差・各町会の特性を思索した『地域コミュニティの形成と継承』を思考する特別委員会の設置を求める陳情」がお手元の資料5-3のとおり提出されてございまして、議会では、区役所で地域コミュニティを所管している地域振興部、議会では、この部に関する調査や審査を所管する企画総務委員会に審査を委ねることを決定したものでございます。

同委員会では、令和7年1月に審査を行いまして、議論の結果、「特別委員会の設置は難しいものの、陳情の5項目については区議会・執行機関ともに課題としては認識をしております、新年度予算で新たな取組というものも区で予定をされているので、この委員会内で継続して議論していく方針」というものが確認をされたことで、一旦この陳情の審査は終了したものでございます。なお、資料5-4といたしまして、その際の議事録というものも参考におつけをしております。

るるご説明をいたしましたとおり、この間、当運営協議会以外でも、都度現テーマに関する議会、また区役所でも様々な検討を重ねてきている状況でございます。こうした経緯を経まして、本日の令和7年度第1回区民集会運営協議会を迎えていると、こういった経緯になってございます。

ご説明は以上でございます。

○秋谷座長 ありがとうございました。

現テーマを「これからの地域コミュニティの形成と継承」に決定する前後の動きと、その後の本日までの経過を事務局から説明いたしました。説明のとおり、一昨年度から現テーマに関する取組を進めてまいりましたが、昨年度は、第1回区民集会運営協議会において、同年度内に現テーマに関するシンポジウムを開催し、課題解決に向けてより検討を深めていく方向で考えておりましたが再考することとなっております。一方で、今回のテーマに関連することについて、要望書や陳情によって、区民集会運営協議会以外にも検討の場の幅が広がってまいりました。併せて、後ほど説明いただきますが、現テーマに関連

して様々な検討を重ねる中、地域コミュニティに関する施策や事業を担う区の地域振興部においては、議会が頂戴した要望書や陳情の内容、そして問題意識を議会と共有した上で、具体策の準備に取りかかっている状況もありました。

こうした状況を常に見据えながら、区民集会運営協議会の開催機会をうかがっていましたが、今年度を迎え、テーマに関する区の実組が動き出しましたので、本日お集まりの皆様とより具体的な共通認識を図れるものと判断し、本日の開催に至ったものでございます。

この間、大変お待たせいたしましたことを、心からおわび申し上げます。ご理解いただければと存じます。

次に、本日は、地域コミュニティを所管する区の地域振興部の方にお越しいただいておりますので、現テーマに関する区の実組についてご説明をお願いいたします。

○赤海コミュニティ総務課長 おはようございます。ご紹介いただきました、私、地域振興部コミュニティ総務課長の赤海と申します。連合町会長の皆様におかれましては、日頃からお仕事などをされながら、また、連合町会の運営などに加えて、私たち行政の様々な事柄についてもご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

区民集会運営協議会におかれましては、町会の支援やコミュニティの活性化を目指してということで、テーマとして「これからの地域コミュニティの形成と継承」を掲げて取り組まれていらっしゃると思います。また議論を重ねておられるところでございます。区といたしましても、町会運営の持続可能性の向上については、かねてより大きな課題であると受け止めているところでございます。令和6年1月に開かれました当協議会におきましては、「千代田区のコミュニティ支援」と題しまして、コミュニティ総務課で所管するコミュニティ活性化事業ですとか活動事業助成、地域コミュニティ醸成支援についてお話をさせていただいたかと思えます。今般、この町会運営の持続可能性の向上について、ここ最近、地域振興部としてどのような取組を行ったか、また今後どのような展開を考えているかをご紹介させていただきたいと思えます。

まず、区の実組をご紹介させていただく前に、まず、改めて町会を取り巻く現状と課題について簡単に触れさせていただければと思います。データをご用意いたしました。ちょっと画面が見づらくて、申し訳ありません。紙で印刷してあるものもございますので、そちらもご参照いただければと思います。

これからお示しするものは、区民世論調査の経年のものと、主に令和4年に地域コミュニティについて聞いたものを基本にしてございます。

まず、町会の加入率についてでございます。「あなたは町会に加入していますか」スライドの2ページ目でございますが、「加入していますか」という問いに「加入している」と答えた方について、2012年、平成24年から経年で表させていただいております。オレンジ色の線が加入しているという方々でございます。ご覧いただいているように、加入割合は上下しつつも、世論調査上の数値ではございますが減少傾向が続いているという状況でございます。一方で、下にある青い線でございますが、これは別にマンションで一括加入しているというふうにお答えになられた方の割合ですが、こちらもやはり減少傾向にあるという状況でございます。

これらを年代別に何十歳代、何十歳代ということで、年代別に見てみたものが下に表し

た表でございますけれども、おおむねきれいにやはり加入しているとおっしゃっている方の割合が年代順に並んでいるという状況がございます。またにご覧いただいているように、年代が高いほど加入率は高い状況でございますが、赤い線を引っ張っていますけれども、40歳代以下の加入率がやはり非常に低いという特徴が表れております。まさに町会員の平均年齢の高年齢化ですとか、担い手不足の状況の表れかなというふうに考えているところでございます。

次のページでございます。こちら、町会が地域で担う役割について、あなたの考えに当てはまるものについて聞いたものでございます。ご覧いただいているように、町会が地域で担う役割を「地域の防災・防犯」とお答えになった方が60.2%と、最も多い状況です。次に「地域の人と交流する場をつくる」町会の役割というのはそういうところであるという回答をされた方が続いております。また、このほかに「祭りや行事への参加の機会を作る」とか、「地域の伝統を守る」といったようなイメージも一定以上の高い割合で回答を頂いているという状況がございます。

次にですが、町会加入者についてでございます。「町会に加入している」とお答えになった方に町会活動への参加状況について聞いてみたところ、こちらのスライドではデータをお示ししていないんですけれども、「町会の役員等運営に携わっている」という方が6.8%、「日頃から町会の活動に参加している」という方が8.4%と、あまり高くないという状況でございます。一方、「町会行事やお祭りに参加したことはあるけれども、日常の活動には参加していない」という方がやはり34.5%、「町会の情報は見るけれども活動には参加していない」という方が32.3%と、情報は見ているけれども活動への参加が少ないというような傾向になっております。

また、町会の活動に期待することについて、三つまで選択してもらったんですけれども、青い線は回答した方全体での割合、856名の回答者のうちの割合でございます。オレンジ色はそのうち単身世帯の方の数字を抜き出したものでございます。項目の8にあります「人間関係の負担が重くない活動であってほしい」ということを選択された方が53.2%ございました。次に、項目1の「地域内の交流の活性化」と、やや人間関係の負担が重くないほうがいいと言いつつ地域内の交流の活性化を図ってほしいという相反する回答の傾向が出ております。また、単身者の方で見ますと、4番にある「HP、SNSで情報がほしい」というお答えですとか、やはり「地域内の交流の活性化」、それから6番に「自分の経験や考えを活かせる場になってほしい」という選択が多いという状況でございます。年代別の分析はちょっとまだ行っていないところでございますが、単身者の方は町会の情報発信と地域内の交流の活性化を望んでいるようだなということと、また、町会で自分の経験とか考えを活かすことを希望しているのではないかなという潜在的な需要の可能性があると言えると思います。

次のページでございます。今お示しました分析による現状や課題をまとめますと、まず、町会の加入率は減少傾向で、年代が高いほど加入率が高い。町会構成の高年齢化につながっていて、40歳代以下の減少が顕著で、若年層の参加が少ないことの表れであって、町会役員の高齢化の進展、役員をはじめ、祭礼やイベント、防犯・防災、環境などの活動の担い手不足につながっている。

町会が担う役割のイメージとしては、「地域の防犯・防災を担」って、「地域の人と交

流する場をつくる」、「祭りや行事の参加機会を作る」、「地域の伝統を守る」というものが町会が担う役割のイメージであると。

また、町会加入者の活動状況としては、「行事やお祭りには参加したことがある」、「町会の情報は見る」けれど、運営や活動の参加につながっていないという現状がございまして、町会活動で期待することとしては、全体的に「人間関係が重くない方がよい」としつつ「地域内の交流の活性化」を期待しており、単身者は「HPやSNSでの情報が必要」、情報発信をしてほしいということだと思っておりますが、その上で「地域内の交流の活性化」を期待し、また「自分の経験や考えを活かせる場であってほしい」という思いがあるというところでございます。ここまで町会を取り巻く現状と課題についてご紹介させていただいて、また共有も図らせていただきました。

次ですが――あ、ごめんなさい。これまでの経緯ということで表示させていただいております。先ほどご覧いただきましたように、町会への加入率減少、役員等の担い手不足、これによる町会運営や活動の持続可能性にいわゆる赤信号がともっている中、連合町会長協議会の皆様及び区議会の皆様におかれましても大きな課題として動いてこられたことと思います。令和5年10月の区民集会運営協議会におきまして、先ほど事務局長からもご紹介がありましたように、区民集会のテーマを「これからの地域コミュニティの形成と継承」に決定され、令和6年1月末の運営協議会では、地域コミュニティに関する区の取組や事例研究として、千代田区のコミュニティ支援についてというものと、あと、エリアマネジメントの取組として、コミュニティ総務課と景観・都市計画課の講義をさせていただき、また、地域活性化・まちづくりコンサルタントの方、水津さんに講演会を行ってもらったという状況がございます。また、4月には連合町会長協議会におきまして、町会長のアンケートを実施されたという状況です。また、今年の1月には陳情書が提出されるなど、取組への機運が高まっております、今日まで連合町会長協議会及び議会において様々に議論を頂いているところでございます。

区におきましても、町会加入者の減少や担い手不足、町会運営、活動の持続性の向上について、これまでも課題認識はあったんでございますが、こうした流れを受けまして、昨年度から町会の運営・活動を支援する取組を始めたところでございます。それらをご紹介します。

まず、全町会長の皆様及び全婦人部長・女性部長の皆様を対象に、例年実施しておりました研修会をリニューアルいたしました。これまで、主に防災・災害対策、または日々の生活の質を向上する上でのポイントのような講演会が主流であったんですけども、これを町会長の皆様の研修会におきましては、令和6年1月の区民集会運営協議会での講義、エリアマネジメントの取組にも即しております、また、町会運営の持続可能性を向上させる可能性がある手法ということで、「町会とエリアマネジメントの新たな取組の可能性」というものをテーマに、ファシリテーターに大学の准教授、それから実際にエリアマネジメントを導入した近隣区の連合町会長さんなどをお招きしまして、あと事業者をお招きして、エリアマネジメントを活用したまちづくりの事例をトークセッション形式で紹介させていただき、またいろいろ町会長の皆様からご意見を頂いたというところでございます。また、婦人・女性部長の皆様の研修会では、区内、全国的になんですけども、移動式遊び場など、子どもの楽しめるストリートイベントなどを展開している方を講師に招きまし

て、古くからある地域コミュニティとお住まいの方々をつなげるイベントなどの事例を紹介させていただきました。この移動式遊び場をやっている方、講師の方なんですけれども、後日、ある町会でこの講師に対して個別にイベントへの協力依頼があったということで、それでイベントのコラボレーションが実現したというふうに聞いております。町会と多様な活動を展開する団体との好事例になったのではないかなと受け止めているところでございます。

また、町会長の皆様、婦人部長・女性部長の皆様とは、会議体ですとか、こうした研修会などでご意見やご要望、お困り事などをお聞きする機会は従来からあったんですけども、町会の活動とかイベントなどで実働的な部分を担っていらっしゃる、いわゆる青年部世代の方々からは、これまでは意見を聞いたことがなかったなというところがございます。昨年度、町会運営や活動の可能性の向上に向けましては、こうした実働を担っている世代の方々の生の声もお聞きしたいと考えたところでございまして、昨年度試行的ではあるんですけども、各連合から2名ずつご推薦を頂きまして、青年部の方との意見交換会を実施させていただきました。実働的な役割を担っておられる世代の方の視点、現場感覚で町会での取組ですとか工夫、あるといいなといったような生の声をお聞きすることができました。加えて、これまであまり接点がなかった他の連合の方々との触れ合いですとか、対話ができたということですし、他の連合、他の町会の取組を知ることができたということで、この意見交換会をぜひ今後も続けてほしいんだという、我々にとってうれしいお声を頂いているところでございます。

そこで、明日なんですけれども、今年度の青年部の意見交換会を実施させていただく予定でございます。この場をお借りして、ちょっとご報告させていただきます。改めて連合町会長の皆様にご理解を賜りまして、またご協力を頂きまして、改めて御礼申し上げます。ありがとうございます。

次でございます。これ、区の実働的な取組の引き継ぎの紹介をさせていただきます。そのほかの実働的な取組といたしまして、まず情報発信の側面から、これまで区のWEB、区ホームページと呼んでいますけれども、区のWEB上で町会に関することはほぼ何も掲載がなかった状況でした。これらを整備・充実しまして、今年の3月に第一弾としてアップさせていただきました。ご覧いただいているものの右側が、今、ホームページでのWEBの町会などを紹介するページでございます。また、補助金に関しまして、比較的小規模のイベントなどで活用いただいているコミュニティ活動事業助成について新たに「酷暑対策」助成というものを加えさせていただきました。また、その他補助金についてはちょっと様々な課題をクリアしていく必要もございますため、これまでの執行状況ですとか、他自治体の状況等を今調査させていただいているという状況でございます。さらに、今回、107町会全ての町会長の皆様に、あと婦人部長、それから女性部長の皆様、青年部世代の方々に対してアンケートを実施させていただいております。また、広報広聴課の区政モニターに対するアンケートも実施する予定でございます。このアンケート調査に関しましては、連合町会長の皆様をはじめまして各町会の皆様にもご理解とご協力を賜っているところでございます。こちらもうもありがとうございます。

引き続き区の実働的な取組でございます。これからの取組でございます。

今後の取組といたしまして、まず情報発信におきましては、先ほどご紹介させていただ

きました、区のWEBサイトの町会に関する情報なんですけども、これをさらにちょっと充実を図っていきたいと考えております。第二弾の改定を年度内にしていきたいというふうに考えているところでございます。また、町会加入促進や町会運営に関するマニュアルなどの作成、それからSNSなどの情報プラットフォームの導入ができないかどうかといったことについて調査研究していく予定でございます。

祭礼文化の継承に当たっては、他自治体での事例を含め、文化財的観点、地域コミュニティ活性化の観点、それから地域のアイデンティティ確立と町会加入促進の観点から調査をしていきたいというふうに考えております。

もう一つは、町会支援プログラムの構築と実行でございます。現在、皆様にご協力いただいているアンケートによりまして、町会ごとの状況等を分析させていただきますとともに、ヒアリングなどを通しながら町会支援プログラムを構築して、できれば年度内には実行に移していきたいというふうに考えているところでございます。この町会支援プログラムでございますが、こちらイメージでございます。今ご覧いただいているようなものでイメージをしているところでございます。これ、他の自治体での事例ではあるんですけども、支援事業者が町会と共に課題を分析して、課題に応じたプログラムで解決に向けた町会の取組を伴走支援するというものでございます。支援の柱は、こちらでは、加入促進、それから活動・行事、情報発信、組織運営・担い手づくりという柱立てとなっております。こうした事例を参考にしながら、アンケートで見える千代田区の地域特性を加味したものとして構築していく予定でおります。

以上、町会を取り巻く現状と課題を共有させていただきつつ、町会運営、活動の持続可能性の向上に向けた最近の区の取組をご紹介させていただきました。今ご紹介した取組だけでなく、今後も引き続き出張所をはじめ、関係各部署と密に連携しまして、日々のご相談やご要望への対応に努めてまいりたいと思っております。

以上でございます。ご清聴ありがとうございました。

○秋谷座長 ご説明ありがとうございました。

次に、意見交換と今後について進めさせていただきます。前回の当運営協議会からこれまでの経過、テーマに関する区の取組のご説明をいたしました。現テーマで求められている地域コミュニティを今後どうしていくべきかについては、陳情審査などを通じて、実行組織である区役所と、それをチェックする議会の双方が課題として受け止めていること。また、この課題は議会の企画総務委員会においても解決のために引き続き議論していくことが確認されております。これらを踏まえ引き続き検討する場が確保されたこと、また、既に区も課題解決に取り組んでいることから、当運営協議会といたしましては、委員の皆様に「地域コミュニティの形成と継承」に関し、区へのさらなる要望等ございましたら、本日この場でご意見を賜り、当運営協議会から区への要望書の形におまとめしたいと考えております。なお、区民集会につきましても、参考でお配りした区民集会運営協議会設置要綱に基づいて活動しておりますが、「集会」がどのような形態なのかという定義はございません。そのため、過去は国の機関などに要望行動を実施することをもって区民集会としての活動を行ってきたこともありますので、今回はこれに倣い、現テーマに即して区長宛てに要望書を提出することで協議を終了させていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

ご質問やご意見等ございましたらお願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○秋谷座長 なし。

それでは、ご説明いたしましたとおり、区民集会運営協議会から区長への要望書については、本日頂いたご意見を踏まえ、まずは正副座長でお預かりし、次回までに案文を作成し提出したいと存じますが、いかがでしょうか。

○小林（た）委員 ちょっと意見を。

○秋谷座長 小林たかや委員。どうぞ座ったままで大丈夫です。

○小林（た）委員 もう既に、委員会で具体的なことはやっている。それに合わせてこの区民集会で「これからの地域コミュニティの形成と継承」について取り組むということで、またここで話して要望を区に出すということで、区民集会のもう少し下の連合町会長さんが来て、いろいろ意見を持ってきてくれるかもしれないんですけど、こちらでは、区のほうとしては青年部長会会議をやって情報を挙げてくるというのものもあるでしょうけれども、実際、現場をお持ちになっているところで、例えば町会の、先ほどここに加入促進というところでこちらで挙げていますけど、区が取り組んでいることと実際の部分でかけ離れている部分もあるし、それからその行事と、それから担い手のつくり方もちょっと温度差が出てくると思うんだよね、区のやっていることが全部下に行くわけじゃないんで。そうすると現場をお持ちになっている連合町会のところで、多分麴町とか神田は温度差があると思うんですけども、その辺のことを1回連合町会長さんにテーマの中で聞いていただくようなことができれば今日の懇談というのがいいのかと思うんですけど、その課題は先ほど挙げてくるにしても、より具体的に、区は区でやっているんで、やっぱり現場の近いところが意見があるのを頂くのをお願いできれば、その辺でやったほうが区民集会としてやるには濃い要望ができるんじゃないでしょうか。

○秋谷座長 各連合町会長様たちに……

○小林（た）委員 そうそう、そう。

○秋谷座長 それぞれご地元の意見をもっと聞いてきていただいてという……

○小林（た）委員 聞いていただく、ただ役所と連合町会長さんでやっているのは僕らは見えないから、ここで……

○横山副座長 いいですか。

○秋谷座長 横山会長。

○横山副座長 はい。今、現状では、町会長、婦人部長、青年部の部長クラスの人たちに、今現在アンケートの調査をしている最中なんです。なので、まだそれが実際のところ取りまとめ終わっているわけじゃないし、記述式の部分もかなりあるので、その辺のところの取りまとめが出てきてから、それでその内容に即してもう一度支援プログラムなりなんなりについてもう一度、今回と次回ぐらいで終わらせるんじゃなくて、その結果を踏まえた上でもう一度話し合いの場を持てるような形にしていってほしいんじゃないかと思えますし、こういう問題って、今すぐかというと、多分今の時間を切り取ってアンケートをやっているわけなので、人口の推移とか新しく入ってこられるマンションの人たち、マンション住民の新しい人たちに対する対応だとか、そういう人たちの持っている考え方とか、そういったものが3年先なのか5年先なのか分かりませんが、いつの時点

でそれぞれ切り取っていったほうがいいのか分かりませんが、ある程度継続してこういうのはやっぱりやっていくべきだと思いますし、それによって実態がある意味我々町会の立場としても把握できるし、行政側のほうの進め方というものに対する助けにもなると思うので、こういうアンケート、せっかく始めたわけですから、何らかの形で継続性を持たせる形で動かしていくとよろしいのかなというふうに考えておりますけれど。

○秋谷座長 ありがとうございます。

堀井会長。

○堀井委員 私も長く町会のコミュニティ、町会長をやって、18年です。マンションの方を何とか町会に入れたいと思っていろいろ努力したんですけども、この問題、20年前に千代田区で、街づくり推進公社、コミュニティ振興公社、もう一つ何だったか、三つの振興公社を合併してまちみらい千代田というのをつくったんですよ。それでその20年前からこれはずっと町会加入のテーマとして、まちみらい千代田の方が頑張ってマンション協議会とかをつくられております。そういう資料も含めて千代田区の方がまちみらい千代田のほうにいろいろ情報提供を頂いて、20年間でどういうふうに変わってきたのか、またマンション住民という言い方、この間お祭りのときにも、うちの町会に新しく住まわれた方に、マンション住民という言い方をしたら、町会長、それは差別用語だから言わないでくれと、失礼だと言われました。

うちの町会は、今まで恐らく世界で唯一、マイケル・ジャクソンが町会員になりました。それはね、うちの町会に笹川良一亡き後は俺が日本のドンだから、何か困ったことがあったらいつでも言ってきてくれという会社の方がいたんで、毎日その方がそばを食べに来ながら、いろんな方を連れてきます。そしたらマイケル・ジャクソン親子がそばを食べに来て、町会に入れてやってくれと。恐らくマイケル・ジャクソンが町会員だと本人は分からないんですけども、そのマイケル・ジャクソンを見てから、マンションの方はマイケル・ジャクソンだなと。我々が気をつけてお付き合いをしないと、ただ町会員を増やせばいい、町会のコミュニティを増やせばいいということではない。逆に言えば、どこが答えの落としどころなのかは永遠に出てこないようなテーマなんで、これはそれぞれ現場の町会の町会長の皆さん、青年部長の皆さん、また区議会の皆さんと共に相談をしながら提案をしていただけたらと、神田公園地区の町会長として発言させていただきました。ありがとうございます。

○秋谷座長 ありがとうございます。

ほか、ご意見はありますでしょうか。

横山会長からもございましたとおり、区のほうでアンケートを進めていただいております。その結果も踏まえて、あと2回ほど協議会を開いて、そのアンケートも踏まえた上で、そしてここで頂いた意見も踏まえて要望書を正副座長で取りまとめたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○秋谷座長 ありがとうございます。

それでは、頂いたご提案どおり、区からアンケート調査の集計と分析結果の情報提供を頂きましたら、その内容を踏まえた要望書の案文を作成し、次回の当運営協議会で皆様のご意見を伺いたいと思います。その上で、次回頂いたご意見を反映させ、最終の要望書案

を作成し、さらに当運営協議会でご了承いただいた上で区長へ提出して完結という予定で進めてまいりたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○秋谷座長 ありがとうございます。それでは、要望書の案文が準備できましたら、次の開催日程をお知らせいたします。

最後に、日程4、その他に入ります。皆様から何かございますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○秋谷座長 ありがとうございます。

以上をもちまして、本日の区民集会運営協議会を閉会いたします。本日はお忙しいところ、誠にありがとうございました。

午後0時41分閉会